
喫茶ファウンテン

由一

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

喫茶ファウンテン

【Nコード】

N9528T

【作者名】

由一

【あらすじ】

喫茶ファウンテンは個性的なメニューが売り。しかし、個性的だけど美味しくはなかった。

その喫茶店は近所でもとても有名だった。
知らないものはいなかった。

今日も遊び半分で来たと思われる二人組の男性客が、からんころんとドアを開けて雑誌の置いてある棚のすぐそばに、一人は「少年モンデー」を、もう一人は「ナツサンスポーツ」を手にとって座る。そして、立てかけてある手書きのメニューを手にとって暫くブツブツ喋り始めた。

店員は意外と若い綺麗なお姉さんで、水と暖かいおしぼりを持ってきた。

二人は、さつさとおしぼりをビニールの袋から取り出して脂ぎった顔を拭くと、再びメニューを選びを始め約10分が経過した頃によつと決まった。

二人は店員を呼ぶと、メガネをかけた小太りの男の方が注文の品を言う。

「バナナミルクサンデーカルボナーラアステカ風ミスティックバカンス」と、ココナッツヨーグルトチャーハン残しちやいやよマーク?>それに、アイスコーヒー2つ。」

綺麗なお姉さんは、とんでもないメニュー名を言われても顔色一つ変えず、「暫くお待ちください」と言って厨房の方に歩いて行った。

それから約25分後、注文の品がやってきた。

巨大な皿に載せられた、恐ろしい量のさながら油田のごとく油でまみれた食べ物とは思えないようなグロテスクさとかなりヤバい匂いを放つ、2つの料理とも思えぬ料理とコーヒーが目の前に置かれた。

男達は、まず胸ポケットからデジカメを取り出して、その下手物を写真として収める。

彼らの目的の1つだった。2人は今日のブログのネタ画像を手に入れたのだ！

それから、やっと料理に手を付け始める。

彼らも、最初は何とか食べている事が出来た。しかし、それも10分と持たず、2人とも大きな息をつくようになった。わかっていた事とはいえ、ちよつと後悔した。

そして、更に彼らを後悔させる出来事とその10分後に起こった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9528t/>

喫茶ファウンテン

2011年10月9日04時04分発行